

松山大学大学院言語コミュニケーション研究会

第7回例会 特別講演会

- 日時：2017(平成29)年11月11日(土) 受付:15時30分より
- 場所：松山大学樋又キャンパスH2A
※伊予鉄市内電車環状線「清水町」駅下車、徒歩約5分(松山市駅→鉄砲町駅約20分)
※大学ホームページ(<http://www.matsuyama-u.ac.jp/>)ご参照のこと
- 参加費：無料(学内外者問わず)

◆会長挨拶(16:00～16:05) 瀧 由紀子(松山大学大学院言語コミュニケーション研究科長)

◆特別講演(16:00～17:30)

題名：「英語学習における動機づけを考えるー学習意欲を高めるための10の提言」

司会：瀧 由紀子(松山大学大学院教授)

講師：竹内 理(関西大学 外国語学部・大学院外国語教育学研究科教授)

要旨：昨今のグローバル化にともない、英語運用能力の育成が盛んに議論されている。しかし、その一方で、英語学習に対する意欲・動機が著しく低下していることも大きな問題となっている。本講演では、まず「学習動機」とは何かという問題を考え、その特性を探る。その後、外国語教育学の分野での実証的な研究や理論的な枠組みを参考にして、どうすれば英語学習への動機を高めることができるのかを、10の提言としてまとめ、紹介する。講師が一方的な形で話すのではなく、皆さんにも参加してもらいながら、動機づけの問題について理解を深められれば幸いである。

【特別講演講師紹介】

日本の言語学者(応用言語学者、英語教育学者)である。関西大学大学院外国語教育学研究科および外国語学部教授。専門分野は、英語教育学(学習方略・動機づけ・自己調整学習など)、外国語教育メディア論(CALL、映像・字幕利用など)。兵庫県西宮市生まれ。神戸市外国語大学外国語学部および神戸市外国語大学大学院外国語学研究科(英語学)修了後、同志社女子大学短期大学部研究助手に着任。専任講師時



代にフルブライト奨学金を得てオハイオ大学（Ohio University）に留学する。その後、カリフォルニア州のモントレー大学大学院（Monterey Institute of International Studies）を首席で修了（英語教育学）。帰国後、同志社女子大学学芸学部助教授および関西大学総合情報学部助教授（総合情報学研究科兼担）を経て、現在、関西大学大学院外国語教育学研究科および外国語学部教授。学習方略の研究で兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科より博士号（学校教育学）を取得。関西大学外国語学部長（第2代）、大学院外国語教育学研究科長（第2代、4代）、学校法人関西大学理事（第17期）、外国語教育メディア学会（LET）会長（第11代）等を歴任。

2004年度大学英語教育学会（JACET）学術賞、2005年、米国モントレー大学院創立50周年記念「顕著な活躍のあった同窓生」賞（GSLEL部門）、2008年度第4回第マルチメディアティーチングコンテスト優秀賞、2009年度外国語教育メディア学会（LET）学術賞の各賞を受賞。

【キャンパスマップ】



特別講演は非常に混雑が予想されますので、お早めにご来場ください。

（開場 15:30～）

問い合わせ先：松山大学教務部教務課 大学院言語コミュニケーション研究科担当

電話：089-926-7137（松山大学 教務課）